

## ◎多世代交流の仕組みづくり事業

7月22日(月)に、実谷区民館で地域住民、三育学院大学と一緒に、多世代交流の仕組みづくり事業「第6回 寄茶場 in 実谷&七本」を実施しました。

今回は、「オリーブ&ハーブ園草むしり&空間づくり」をテーマに総勢25名で実谷区民館をきれいにしました。



▲子どもたちが一生懸命草むしりしています



▲実谷区民館をきれいにしている姿

今回、実谷区民館の軒下が物置になっているのをきれいにし、ちょっとした休憩場所として活用する目的と子どもたちがサッカーなど遊べる場所として活用できるようにしたい地域の思いから実施することになりました。

暑い中でしたが、大人がやっている姿を真似して、子どもたちも草むしりや、むしった草を集める作業と一緒に頑張りました。実施後は、早速子どもたちがサッカーボールやバドミントンを持ってきて遊ぶ姿や大人が教える姿も見られました。大人は子どもたちが遊ぶ姿を見ながらお茶を飲み休憩しました。その光景がとても微笑ましく、これこそ「地域全体で子どもを育てる姿」だと感じました。

第5回寄茶場 in 実谷&七本の実施の時に参加者より「特別なことは求めてなく、集まることが大事」という意見を実行できた内容でした。

きれいになった実谷区民館やオリーブ&ハーブをさらに活用し、地域を盛り上げたいと思います。



▲オリーブアンパンを食べながら休憩中



▲きれいになった実谷区民館の軒下